

第3号様式（第5条関係）

その5（農業等の収入を含む場合用）

記載例

支援金算定申告書

2022年1月～3月の売上金額と、その合計及び月平均を記入してください。

1 売上減少率

(単位 円、%)

対象期間	申請対象期間の売上高		2019～2021年のいずれか任意の年の売上高		減少率	差額
	農業 (円)	営業 (円)	農業 (円)	営業 (円)		
2022年1～3月			2019年1～3月		$(B-A) / B \times 100$	$B-A$ ※千円未満切捨
1月	200,000	0	1,200,000	0	C 82	D 993,000
2月	200,000	10,000	1,200,000	0		
3月	200,000	10,000	1,200,000	0		
合計売上額	620,000 円		3,600,000 円			
平均売上額	A 206,667 円		B 1,200,000 円			

注 C欄の減少率は小数点以下を切り捨てること

C欄が20%以上である。

2019年又は2020年、2021年を記入し、「1月」～「3月」の欄には各月の農業収入と営業収入を「合計売上額」欄には収入の合計額を、「平均売上額」の欄には、合計売上額を3で割った金額（小数点以下は切捨）を記入してください。

該当する区分に☑を付けてください。

D欄 差額と上限額のうち低い方を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/>	法人	(上限額) 200,000円
<input type="checkbox"/>	個人	(上限額) 100,000円

基本額(E)	200,000
--------	---------

いずれかにチェックを付けてください。

(対象業種に☑を付けてください。)

※①は部屋数・②③⑤については保有台数を記入してください。

区分	計算式	加算額
<input type="checkbox"/> 以下の①～⑦以外の業種	加算なし	円
<input type="checkbox"/> ① 宿泊事業者	10,000円 × <input type="text"/> 室	円 ※上限50万円
<input type="checkbox"/> ② タクシー事業者	50,000円 × <input type="text"/> 台	円 ※上限50万円
<input type="checkbox"/> ③ 運転代行業者	50,000円 × <input type="text"/> 台	円 ※上限50万円
<input type="checkbox"/> ④ 旅行者	上限 200,000 円	円
<input type="checkbox"/> ⑤ 貸切バス事業者	100,000円 × <input type="text"/> 台	円 ※上限50万円
<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 市内飲食店直接取引先	一律 100,000 円	100,000 円
<input type="checkbox"/> ⑦ 時短要請対象外飲食店	一律 100,000 円	円
加算額合計(F)		100,000 円

注 ①については部屋数、②③⑤については保有台数を記入してください。

3 支援金申請額

合計金額を申請書の「2 支援金の申請額」欄に転記してください。

差額(D)	基本額(E) + 加算額合計(F)	給付額(G)
993,000 円	または 300,000 円	300,000 円

差額(D)と基本額(E) + 加算額合計(F)のいずれか低い金額

鹿屋市長 中西 茂 様

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

上記の申告書は事実と相違ありません。

記入日を記入してください。

住所については、以下の情報を記入してください。
・法人：本社
・個人事業者：代表者個人の住所

住 所 鹿屋市○○町○○番○○号
事業所等(屋号) 株式会社○○○○
代 表 者 名 代表取締役 ○○ ○○